

### 3 時代を勝ち抜く産業力強化 プロジェクト

概要

瀬戸内沿岸の企業群を中心とする本県の基幹産業が、厳しさを増す国際競争や脱炭素社会の実現に向けた構造変革の時代を勝ち抜いていけるよう、競争力強化やサプライチェーンの強靱化に必要な基盤整備を着実に推進するとともに、戦略的に企業誘致を進め、本県の産業力を強化する

重点施策

- 9 強みを伸ばす産業基盤の整備
- 10 戦略的な企業誘致の推進

#### (1) 成果指標の状況

成果指標	進捗状況	指標数	主な指標
	★★★★★ (目標を達成)	1	緩和する主要渋滞箇所数
★★★★ (計画を上回る)	2	企業誘致件数 等	
★★★ (ほぼ計画どおり)	2	石炭・バイオマス共同輸送の実施回数 等	
★★ (計画を下回る)			
★ (計画から大幅に遅れ)			

#### (2) 県民実感に係る調査結果

調査区分	調査項目	そう思う	どちらでもない	そう思わない
県民実感度調査 (%)	港湾や幹線道路、工業用水などの産業基盤の整備が進んでいると思いますか。	27.9	43.8	25.8
	新たな工場・事業所などの進出や、企業の設備の増設などが進んでいると思いますか。	20.1	43.8	33.6

#### (3) 主な取組と成果

主な取組と成果	◆強みを伸ばす産業基盤
	○ コンビナートの国際競争力の強化に向け、徳山下松港下松地区棧橋が概成したところであり、引き続き、航路浚渫等の施設整備を進めるとともに、企業間連携による石炭・バイオマス共同輸送を 35 回 (R4~R6 年度) 実施するなど、国際バルク戦略港湾施策を着実に推進。
	○ コンテナターミナルや臨港道路の整備など、各港の特性に応じた港湾の機能強化を着実に推進。
	○ 迅速かつ円滑な物流を支えるため、幹線道路の整備を着実に推進。 国道・県道の整備完了延長：25 km (R4~R6 年度) → 目標：50km (R4~R8 年度) (主な成果事例：国道434号(須川バイパス)開通(令和7年3月))
	○ 非常時対応を可能とする二条化・ループ化などによるバックアップ機能の強化を含む <b>工業用水道施設の強靱化の実施</b> 。
	○ 令和4年度に策定した <b>工業用水道事業の事業継続計画(BCP)</b> を踏まえた訓練等の実施。
	○ ICT環境やデジタル化対応産業教育装置を活用した <b>資格取得講座</b> を実施し、産業界のデジタル化に対応した教育活動による人材育成を推進。 [実施講座の例] 機械加工技能士資格講座：数値制御旋盤やマシニングセンタの活用(19名受講) 電気機器組立技能士資格取得講座：シーケンス制御実習装置の活用(19名受講)
	○ アウトリーチ活動による技術流出防止意識の醸成 <b>技術流出防止意識の浸透率 97.5% (R6 年度)</b>

- 先端技術情報を保有する県内企業・学術機関における危機意識向上及び自主的対策の促進を目的として、有識者を招へいした**経済安全保障セミナー**を開催。
- 令和6年2月に本県の産業支援機関と台湾の関係団体が締結した半導体分野等の産業交流及び振興に関する協力協定(MOU)が契機となって、**台湾の関係団体・企業等で構成される訪問団が来県し、産業交流フォーラムや商談会等を実施。**

◆**戦略的な企業誘致の推進**

- デジタル化・グリーン化をはじめとした成長企業への戦略的な企業誘致活動を展開する中、**令和6年は過去最高の投資額、約1,475億円を達成。**
- **光市小周防地区での産業団地整備**に係る詳細設計等を実施。

#### (4) 総評

総評

港湾・幹線道路網等の整備は着実に進捗し、産業のデジタル化に対応した人材育成も進められているが、国際競争が厳しさを増す中で、県内企業の競争力の強化を図るためには、ハード・ソフト両面からの取組のさらなる強化が求められている。

戦略的な企業誘致により、誘致件数は堅調に推移しているが、DXやGXの進展に伴う関連市場の成長等を踏まえた企業誘致をさらに強化していくことが求められている。

#### (5) 課題と今後の展開方向

課題と今後の展開方向

◆**強みを伸ばす産業基盤**

- 県内企業の国際競争力の強化や生産性の向上を図るため、港湾・幹線道路網の整備、産業の血液である工業用水の安定供給体制の強化が必要である。
- 産業界のデジタル化に対応できる人材の育成に向けて、ICTやデジタル化対応産業教育装置を活用した実践的な教育活動のさらなる充実を図る必要がある。
- 関係機関・団体を通じた先端技術保有企業の実態把握を推進しつつ、企業や学術研究機関のニーズに応じたより説得力のある手法・素材を用いた情報提供活動が必要である。
- 工業用水道の管路が本格的な更新時期を迎える中、計画的・重点的な管路の更新を進めるため、試掘調査で管路の劣化状況や埋設環境を把握した上で、AI等のデジタル技術を活用し、更新時期の最適化を図っていく必要がある。

◆**戦略的な企業誘致の推進**

- DXやGXの進展に伴う関連市場の成長、サプライチェーンの強靱化などを背景とした企業の旺盛な投資意欲を本県へ確実に取り込むため、本県の将来における経済成長をけん引するGX・DX・医療に関連する分野を中心に、補助制度等を活用した精力的な誘致活動に取り組む必要がある。
- 企業ニーズに的確に対応できる産業団地の整備を着実に推進し、本県への成長企業の立地を実現する必要がある。
- 世界的な市場拡大が見込まれる半導体・蓄電池産業の集積強化に向けて、企業誘致を強力に推進するとともに、研究開発の促進や販路拡大、人材確保・育成等の取組を強化する必要がある。

(参考) 令和 7 年度の主な新規・拡充取組

**新 「長州デジタル人材×企業誘致」プロモーション事業**

県内で育成されたデジタル人材に特化した情報発信を行うことにより、学生の受け皿となるデジタル関連企業の進出を促進